

平成28年度 新里デイサービスセンター 事業計画
(通所介護・介護予防通所介護・宮古市介護予防型通所支援事業)

1 基本方針

事業所は、利用者の意思及び人格を尊重し、可能な限り住み慣れた地域で、その方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の視点に立ったサービスの提供に努めます。また、サービスの提供を通じて、利用者並びにその家族の身体的、精神的負担の軽減に努めます。更には、支え合いよる地域包括システムの構築においては、地域社会の一員として関係機関との連携を重視し、地域福祉の向上に努めます。

2 重点事項

(1) 利用者ニーズの把握と自立支援にむけたサービスの提供

- ① 利用者のニーズを正しく把握し、一人ひとりの介護計画における目標の設定及びその達成にむけたサービスの提供に努めます。
- ② レクリエーション・機能訓練活動を計画し実施することで、利用者の心身状態の維持及び向上を図り介護予防に努めます。
- ③ 介護計画に対する評価を定期的に行い、常に利用者の状態把握に努めます。

(2) 安心・安全なサービス体制の構築

- ① サービス提供に欠かせないマニュアル(入浴・排泄・食事等)を定期的を確認し、見直しすることをもって感染症や介護事故からのリスク軽減を目指します。
- ② バイタル(体温・血圧測定)、体重の測定等を行い、利用者の日常的健康管理に努めます。
- ③ 苦情や相談の窓口を設けて、日頃から利用者の声を反映できるサービス及びサービス事業所を目指します。
- ④ 利用者及びその関係者の個人情報、サービス記録については適切に取り扱います。
- ⑤ 定期的な館内の消毒、清掃を実施し環境衛生と美化に努めます。
(館内くん蒸消毒一月1回、一般浴槽・特殊浴槽消毒一月1回、浴室清掃一毎日)
- ⑥ 送迎車両の定期的な整備点検を行うことや車内における感染症対策用品等を配備して利用者の安全な送迎体制を保ちます。

(3) 利用者家族、関係機関との連携をもった事業の推進

- ① 利用者への適切なサービス提供を実施するために、居宅介護支援事業所、行政、医療機関等の関係機関との連携をもって事業推進を図ります。
- ② 利用者家族、担当介護支援専門員との会議を通じて、利用者に対する共通認識を深めます。また、日頃からの関わりを通じて事業者と利用者間の信頼関係構築を目指します。
- ③ 併設事業所である紫桐苑との連携を通じて、行事や事業の円滑な運営に努めます。また、非常時における防災対策について一体的に取り組みます。

(4) 職員の資質向上を図るための工夫

- ① 施設内研修の定期的な実施、外部研修への参加を積極的に行い、ケアスキルの向

上や知識の習得を図ることをもって職員の資質向上を目指します。

- ② 職員間の連携体制や諸会議を通じて、ケア全般に対する共通認識を深め、職員全体の意識レベルの向上を目指します。

(5) 口腔機能の維持向上と認知症介護の向上

- ① 口腔機能の低下を予防することを目的として、食事前の口腔体操を実施し嚥下の訓練に努めます。
- ② 食後の口腔ケアを実施し、口腔内の衛生保持に努めます。
- ③ 認知症介護の向上にむけて、必要な研修への参加、内部の勉強会に取り組みます。
また、その方の適切な介護のあり方について介護者との連携をもって検討します。

3 年間計画

月	主な行事	保健衛生・清掃	施設管理・防災	職員会議等
4	花見ドライブ	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検 避難訓練	運営連絡会議 ケース会議
5	運動会	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
6	菖蒲湯（旧端午）	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議 利用者の満足度調査実施
7	七夕会（七夕飾り）	施設内清掃 定期消毒 職員健康診断	電気等保守点検 避難訓練	運営連絡会議 ケース会議
8	かき氷作り	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
9	敬老会	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
10	紅葉ドライブ	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
11	共同作品作り	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検 避難訓練	運営連絡会議 ケース会議
12	ゆず湯（冬至） クリスマス・忘年会	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
1	新年会 みずぎ団子作り	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
2	節分豆まき	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議
3	ひな祭り	施設内清掃 定期消毒	電気等保守点検	運営連絡会議 ケース会議

